



第3回「県政タウンミーティング（熟議方式）」の開催結果について

教育総務課

開催日時	平成23年11月19日（土） 9時30分～12時30分
場 所	諏訪合同庁舎 講堂
参 加 者	○熟議参加者 41名（5グループ） 公募の県民：19名、中学生：12名、県関係者：5名（阿部知事、矢崎委員長、野村委員、山口教育長、小嶋次世代サポート課長）、ファシリテーター：5名 ○傍聴者 約30名
テ ー マ	「10年後の学校を考えよう」
熟議で出された意見（グループ発表から抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域との関わりについて、子ども達が地域の活動に積極的に参加し、地域が子どもの育ちに関わることが必要ではないか。 ○ 教育格差を無くし、スムーズな校種間の接続が図れるよう、0歳から18歳までの教育について、小中高まで一貫した指導を行えるようにしたい。 ○ 先生と生徒の相互信頼のために、先生自身も生徒のことを学ぶとともに、子ども達からも先生への意見・要望などを積極的に出していくことが大切。 ○ 地域への関心を高めるには、子ども達がボランティア活動を行うことや、まず、地域を知ることが大切ではないか。 ○ 地域連携を進めるために、家庭や地域みんなで協力して学校の教育内容を作っていく。そうした教育に関するプラットフォームづくりが必要。 ○ 生きる力、挑戦する気持ち、夢などを子ども達にもっと持ってもらうために、キャリア教育を行っていくことが必要。 ○ 学校、地域、家庭、企業、行政など、地域社会全体で『連携』して、子どもを育てたい。 ○ 地域全体の連携を図るため、今回のようなミーティングを市町村、学校単位で行ったり、良い教育施策の情報発信や交流が出来ればよい。 ○ 子ども達が柔軟性を持つために、柔軟性のある先生を増やしてほしい。
熟 議 の 様 子	 

「県政タウンミーティング(諏訪市)」【平成23年11月19日】グループ毎のまとめ(発表資料から)

テーマ「10年後の学校を考えよう」

教育総務課

グループ	課 題	10年後の学校のありたい姿	実現のための方策・具体的なアイディア
A	○地域とのかかわり	○地域と学校が共に子どもの育ちを支える	○子どもたちが地域の活動に積極的に参加する、地域が子どもの育ちに関わる
	○人間力、生きる力(夢・将来)(意欲・体力)	○生徒が自発的に学び活動している学校	○生徒が主催する運動会などのイベントを作る、自然の恵みの中で遊び、学ぶ
	○学校をとりまく環境(格差・教育行政)	○地域・家庭・関係機関が子どもたちと学校の未来を責任を持ちながらも一緒に考えて考え行動している	○みんなで話し合う場を持つ、0才～18才までの教育と小・中・高の一貫指導
	○先生と生徒の関係	○相互に信頼しあえる	○先生自身も学ぶ、子どもから先生へのフィードバック
B	○学びやすい環境整備	○1人ひとりが納得した授業	○制服以外の服装(ジャージなど)での授業、室温などのデータをとって校長先生に訴える
	○生徒会への目的意識	○全体が作りあげる学校、社会の基本となる力がつく学校	○規則改正の取り組みにふみこむ 目的意識を持ちメリットを全校で共有する、表彰する、 去年の結果を掲示させる、目安箱→先生へ、 ルールを明確にする
	○地域への関心	○地域の人から応援される学校	○ボランティア活動を行う、総合の時間を使って考えていく、地域の現状をまず知る
	○将来の進路について	○1人ひとりが希望を持てる学校	○進路講話を増やす(卒業生・先輩)、定期的な進路相談・資料の充実・補習、目的意識、メリットの共有
C	○子どものストレス	○子どもを育てることに喜びを感じる世界	○学校・地域・家庭が連携した教育へのプラットフォームの再構築 ○新しいキャリア教育 → 生きる力、挑戦、夢のある子どもたちに育てるために。 ○個々のニーズに応える教育内容と環境・システムづくり
	○みんなが多忙	○子ども一人一人の個性・能力を発揮できる社会	
	○地域連携	○生徒・児童が自己肯定感を持てる社会	
	○個性の尊重	○学校・地域・家庭が連携した教育のプラットフォームの再構築	
	○多様化への対応	○好奇心をゆさぶる教育	
D	○人間力(教員・親・子ども)	○多様化した環境に対応できる社会の仕組み	○連携ー学校・地域・家庭・企業・行政 ⇒ 地域社会全体で子どもを育てる ○話し合いの機会をもつ(専門家・当事者) ○市町村単位・学校単位のミーティング実行 ○良い教育施策の情報発信・共有
	○不登校・いじめ	○不登校・いじめゼロ	
	○少子化(社会の支援体制)	○明るく楽しく仲良く学べる学校、子どもが行きたい学校、子どもがいたい家庭	
E	○自分の故郷に誇りを持つ	○若者が戻りたくなる故郷づくり ○長野の魅力を伝えよう・この子ども達に 親から、学校から	○それぞれの興味・関心のある分野で同じ考えを持った仲間の集まる場をつくる ○言いたい事はその本人に面と向かってその人に伝える ○子どもが柔軟性を持つために柔軟性のある先生を
	○人と人との関わり		
	○不登校・いじめ(壁にぶつかった時乗り越えられない)		